



FLOWER SUMMIT 2026

開催
決定

新しい時代の花

— 2027年横浜国際園芸博を機に —

2026.10.13 火

開場9:30~20:30

会場TOC有明 コンベンションホール4F

[HTTPS://SAIJI2.TOC.CO.JP/ARIAKE/](https://saiji2.toc.co.jp/ariake/)



『新しい時代の花
— 2027年横浜国際園芸博を機に —』

皆様ご存知の通り、2027年3月から9月にかけて、横浜にて国際園芸博覧会が開催されます。
1990年の大阪花博は、日本にガーデニングという新たな文化を根付かせ、花の需要を大きく拡張しました。

それから約40年。

時代は大きく変化し、国際情勢や気候、そして人々の価値観も揺れ動くと同時に、バイオフィリアと言う視点から人が本来持っている自然への親和性を見直す動きも出てきています。

こうした時代において、私たちは「花」にどのような新しい価値を見出し、どのように次の需要を創造していくのか？

この国際園芸博を一過性のイベントとして終わらせるのではなく、次の時代へと繋がる『レガシー』として、何を社会に残していくのか？

業界の垣根を越えて共に考えたいと思います。

参加費 17,000円（税抜）サミット、懇親会参加費

詳細の内容及び6月初旬より予定していますご参加申し込みは、順次花の国日本協議会公式サイトのお知らせで公開してまいります。出展の募集についても合わせてご案内いたします。

サミットのご案内

【花の国】お知らせ一覧
<http://hananokuni.jp/info/>



サミット申し込み

締め切り：9月30日（水）まで
【花の国】FS2026 ご参加お申し込みフォーム
<https://business.form-mailer.jp/fms/ec5bd8a2291288>



お問い合わせ

一般社団法人花の国日本協議会 事務局 Mail: flowersummit@hananokuni.jp



FLOWER SUMMIT 2026

全体会・分科会のご案内



	セッション／ご登壇者様	テーマタイトル／内容
全体会	OPENING SESSION 井上 英明 (一社)花の国日本協議会 理事長 (株)パーク・コーポレーション 代表取締役 佐分利 応貴様 (株)大田花き 顧問 SPECIAL GUEST 他ゲストを調整中	2027年横浜国際園芸博を機に我々が目指すもの 我々はこの園芸博を機に、何をを目指すのか？ そのゴールを明確に描く事で、意識や意欲の次元が変わってくると思います。 例えば屋内緑化や花育の条例化… 12年前に制定された『花き振興法』の振り返りやこれらの条例化を達成する為の組織、資金調達方法、プロセスなどを官民政の立場から具体的に検討しながら、皆さんと明確なゴールをイメージしたいと思います。
	WELL-BLOOMING SESSION 宮島 浩彰 (一社)花の国日本協議会 副理事長 (株)日比谷花壇 代表取締役社長 彦田 岳士 様 MPSジャパン(株) 技術部長 他ゲスト調整中	WELL-BLOOMING PROJECTが描く「エコフラワー」の未来と環境アクション目標 自然資本である「花」を扱う私たちが、率先して環境価値を創造し、生産者から消費者までをつなぐR棚ムーブメントを起こすためのロードマップを宣言します。

	ご登壇者様	テーマタイトル／内容
分科会	小川 典子 (一社)花の国日本協議会 事業局長 曾我 昌史 様 東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授 並河 進 様 DENTSU JAPAN 電通メンタルヘルスラボ 佐分利 応貴 様 (株)大田花き 顧問	花＆グリーンを心と社会の処方箋に メンタルヘルスの視点から、花とグリーンの「価値」を再定義する 「#ビタミンF&#ビタミンG」。最新研究のエビデンスをもとに、花やグリーンを暮らしに取り入れる理由をどう作り、社会に根づかせるかを考えます。
分科会	宮島 浩彰 (一社)花の国日本協議会 副理事長 (株)日比谷花壇 代表取締役社長 他ゲスト調整中	小売専門店のホームユース需要拡大と持続可能な花き生産の実現に向けて 消費者に気軽に花を楽しんでもらうジャストプライスな花販売を実現させ、花の小売専門店の新たなホームユース需要を伸ばすため、短径花材、露地栽培の季咲花材の生産、それらに合わせた種苗開発など、低価格花材の流通と持続的な花き生産・流通の実現を考察します。
分科会	松島 義幸 (一社)花の国日本協議会 監事 MPSジャパン(株) 代表取締役社長 虎谷 勝之様 丸見運輸株式会社 代表取締役 全国花き物流協議会 会長 他ゲストを調整中	「その花、明日も店に届きますか？」～いま知っておきたい、花の物流危機 産地から花が届かなくなる——そんな現実が、すぐ目の前に迫っています。ドライバー不足や労働時間規制、燃料費・人件費の上昇などにより、これまで当たり前になり立ってきた花の輸送が限界を迎えつつあります。いま物流の現場で何が起き、花の流通にどのような変化が生じようとしているのでしょうか。花の物流問題は、産地から市場までの問題として捉えられがちです。 しかし、市場から花店や量販店などへ届ける二次・三次物流も、同じように深刻な課題を抱えています。配送便の減少や運賃の上昇、納品時間・配送頻度の見直しは、小売店の仕入れや販売にも直結する問題であり、決して無関係ではありません。本セッションでは、花の物流が直面している危機を知り、花き業界全体で、花を消費者まで届け続けるために何を変え、どのように連携すべきかを考えます。



FLOWER SUMMIT 2026

ミニセミナーのご案内



	ご登壇者様	テーマタイトル／内容
セミナー 小売 EC	森田 憲久 (一社)花の国日本協議会 理事 (株)Beer and Tech 代表取締役	生産者とともに応える、オンラインの需要 生産者が減る中、「HitoHana」は2つのアプローチで花の流通を支えます。1つは細やかな需要を捉えた「産地直送」。もう1つは、当店の「人気レシピ」に組み込み、共に魅力を広めること。市場の閑散期でも「どうお客様に花を届けるか」「いかに事前の販売経路を確保するか」という生産上の課題に向き合い一緒に頂ける産地の皆様とともに持続可能なお花のお届けの仕組みを作っていきます。
セミナー 小売 SNS	藤原 雅志 様 (株)ハクサン 常務取締役 / COO	ファンと動かす花の未来 毎年多くの応募が集まるPWアンバサダー制度を題材に、ファンが自ら育て、感じ、発信することで園芸の輪を広げる仕組みを紹介。園芸博を見据え、花の未来を考えます。
セミナー 小売 地域 店頭	大矢 みな (一社)花の国日本協議会 理事 (株)花茂 代表取締役社長	どん底から最高益更新した経営改善術 千葉県市原市の花屋、花茂。数年前までは厳しい経営状態、経理担当者の突然退職、相次ぐスタッフの離職、バラバラな経営方針という苦境にありました。そこから地道な改善活動を徹底し、ついに最高益も更新。地方の 花屋が、どん底から抜け出すまでの生々しい経営改善の軌跡を共有します。
セミナー 生産 ブライダル AI	櫻庭 康人 様 (株)天地人 代表取締役社長 ご依頼中 (株)日比谷花壇	AIでビックデータを可視化する！～生産と販促に活かす為には… 宇宙には数多くの衛星が飛んでおり、その衛星で見ていたデータを活用し、土壌や環境などの適正を判断する。宇宙と地上と人とのデータで未来を見ると言った事をどの様に行っているか？を天地人の櫻庭社長から話を聞く…。もう一つはブライダルなどの現場で既に実用化されているAIを使用したプレゼンテーションのやり方や仕組みを日比谷花壇の担当者にお話しして頂きます。これからと今(現場)を様々なデータをAIでどの様に活用するのか？それぞれの角度から話しが聞けるセミナーです！
セミナー 生産 AI・ICT	山田 裕也 (一社)花の国日本協議会 理事 山田園芸 代表	明日から使える花き生産のAI・ICT AI活用はスマホ一つから始められます。音声メモ、経営・栽培の壁打ち、作業マニュアル、栽培計画、在庫管理など、山田園芸で実践中のAI・ICT活用を、生産者が明日から試せる入口に絞って紹介します。
セミナー 生産 規模拡大	山田 桂 (一社)花の国日本協議会 理事 (株)ヤマキ花卉園 代表取締役	持続的な花き生産と規模拡大の可能性 生産者が減り、持続的な生産と安定供給が求められる中、規模拡大は可能なのか。経営強化・人材育成・販売先との連携を軸に、生産と小売の視点から必要な取組と課題を考え、持続可能な花き生産への道筋を探ります。
全体会	井上 英明 (一社)花の国日本協議会 理事長 (株)パーク・コーポレーション 代表取締役 各分科会・セミナーご登壇者様	CLOSING SESSION フラワーサミット2026の一日の分科会・セミナーで語られた内容をご登壇者様・ご参加者様の皆さまと振り返り、2027年横浜国際園芸博を機に我々が目指すものを共有します。